

# 月刊☆里親だより

第61号 2014年11月10日(月)(公財)全国里親会

## ◆全国里親大会おかやま大会が開催されました

全国里親大会おかやま大会が10月18日(土)・19日(日)と岡山国際ホテルで開かれました。参加者は総勢670人(里親550人、ユース32人、子ども90人)

開会式では、全国里親会の星野会長は「子ども一人ひとりの利益を追求できるよう関係者が手をとり合って頑張ろう」とあいさつ。永年里親制度の推進に功績のあった里親や団体の表彰が行われ、厚生労働省・家庭福祉課長からの行政説明。その後、5つの分科会でそれぞれのテーマで話し合いがもたれました。

夕方からは懇親会が催され、交流を深めました。翌日は、東北福祉大学特任教授、草間吉夫氏による記念講演「里親家庭に育ってよかった」。

大会に先立つ18日(土)の午前中には地域の里親会長による会長会議が行われました。あらかじめ地域の里親会の課題や全国里親会に望むことなどをアンケートでお聞きしており、それを参考に情報交換などが行われました。

他にも、ユースによるワークショップ「ユースの集い」や里母による女性リーダーの会の打ち合わせなどが行われました。

来年は鹿児島県で開催される予定です。

## ◆第1回女性リーダーセミナーが開催されました

11月8日(土)、さいたま市大宮のソニックシティで、全国の女性リーダーを対象にしたセミナーが開催されました。首都圏を始め、新潟、島根など25名の里母が参加。「これだけは他に負けない」という所属里親会のご当地自慢から「未来の里親会のあるべき姿」のイメージなど意見交換をしました。

埼玉県では、児童相談所が委託直後の里親を対象に「委託直後サロン」を毎月開催しており、参加を義務づけているという発表に、質問が集中しました。また、山梨では「研修手帖」を里親会に入会した里親に配布、一目でその里親の表彰歴・研修受講歴・委託歴などがわかるようになっているという発表は、ぜひ自分の地区でもやりたいと声が上がりました。里親の質の向上、意識改革が求められている昨今、どのように里親を増やすか、難しい子どもを受けていける里親の質の向上が各地区里親会の課題であることが浮き彫りになりました。

その後、里親でもあり、現役の厚労省社会・援護局障害保健福祉部長の藤井康弘氏に里親になられてからのお考えや霞ヶ関や永田町へ里親当事者の声を届ける

ことの重要性などのお話をうかがいました。

「笑顔で、元気に、楽しく里親をやっていこう！」と来年の開催を約束して散会。

今回のセミナーは、全国里親会が人材育成事業として開催したもので、とくに最近活発化している里母の会(東西)を支援する立場から、女性リーダーに焦点を当てた後継者養成の意味も含んでいます。今後の里母の会の活動としては、①他団体の女性リーダーと合流し、ロビー活動を実施、②地域で里母が情報発信、③里親会女性会長の推進、④全国里親会女性理事の増加、など活動の幅を拡げていく予定です。(新井淳子)

## ◆チャイルドエイドライブを開催

11月は児童虐待防止月間です。子ども関係の団体と厚生労働省、吉本興業によって3年前から「チャイルドエイド」ライブが開催されており、全国里親会も実行委員のメンバーになっています。

11月8日(土)、9日(日)と東京・渋谷のAiiAシアターでライブを開催。9日は従来通りデーモン閣下を中心にしたロックコンサート。8日は今回初めてキッズダンスを中心にしたライブ。2日間ともミュージシャンやパフォーマンス、ダンサーなどが、虐待防止を訴えました。

## ◆普及・啓発活動を実施します

11月20日に日本財団で開催される「世界こどもの日」国連・子どもの権利条約採択25周年記念シンポジウム—すべての赤ちゃんが「家庭」で育つ社会を目指して—に全国里親会・里母の会がブースを出展します。

参加者にチラシを配布したり、質問に答えたりと、少しでも里親を知ってもらえるよう、ポスターを掲示し普及・啓発活動を行います。

第一部「今赤ちゃんがおかれた現状を知る」と題して基調講演は、『このとりのゆりかご』(熊本県)の慈恵病院元看護部長の田尻由貴子氏と長野大学准教授・児童精神科医の上鹿渡和宏氏の2名。第二部「明日に向かって!~赤ちゃんのために、私たちがすべきこと~」をテーマにスピーチとパネルディスカッションが行われる。総司会はサヘル・ローズ(女優)さん。

## ◆『里親だより』102号が11月20日に発行されます

11月20日に『里親だより』102号が発行されます。今回の特集では、里親委託率の低い地域の里親会長にアンケートを実施して、なぜ委託率が低いのかを聞きました。また、9月に名古屋で開催されたISPCAN(子ども虐待防止世界会議)に日本財団の招きで来日したネイサン・A・フォックス氏に「乳幼児の施設養育のもたらす子どもの発達への影響について」インタビューをしています。